子どもも大人もふれあい 流が深まる

▼第36回生きいき〝ひの〟ふれあいまつり

かれました。 来のまちづくりにつなげようと、 実行委員会主催)がにぎやかに開 いき、ひの、ふれあいまつり(同 駐車場などを会場に、第36回生き 10月26日と27日の2日間、役場前 マーケットなどの即売コーナーの 農産物・加工品の販売やフリー 伝統あるものや人との触れ合 町民みんなが元気になって将

ほか、文化団体などの作品展示、

があり、多くの来場者でにぎわい吹奏楽やコーラスなどの芸能発表 ました。

沸かせました。 『ソーラン節』を披露され会場を くに大山』を、 んが日野町をテーマにした曲『遠 今年のオープニングセレモニー ロウェブンライダー 町内で活動している音楽グ プ SevenRider の宮田浩希さ 日翔会の皆さんが



息の合った『ソーラン節』を披露する日翔会の皆さん







手の込んだ作品の展示に見入る来場者





左:根雨小)



開発センターロビ -に登場した立派な庭園に、誰もが見入った



メダカすくいは子どもたちに大人気

然演に観客は感動

▼第12回日野町民ミュージカル

鵜の池新おとぎばなし~ためらい星からやってきた旅人たち~』

町民ミュージカルが、町文化 きな拍手を送りました。 演者の熱唱、熱演に観客は大 センターで、11月10日の昼と 夜の2回上演され、21人の出 今回は『鵜の池新おとぎば 今年で12回目を迎えた日野

が死んでも生きてもいない宙 台にしました。 秘に満ちた宇宙の果てに存在 に、生きた時代の違う人たち する不思議な星と鵜の池を舞 きた旅人たち~』と題し、神 天国でも地獄でもない星

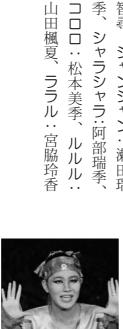
> れぞれがやり残した思いを巡 り残したことがある、帰りた ぶらりんの状態で出会い、「や く進もうとするファンタジー を振り返らず、未来へ向け強 仲間が絆で強く結ばれ、過去 らせ、最後は、旅を共にした ろうとしますが、着いた場所 みんながそれぞれの時代へ帰 は鵜の池。鵜の池を舞台にそ い」という言葉をきっかけに、

なし~ためらい星からやって

【出演者】(順不同、敬称略)

谷口佳乃子、ココ:足立麻緒 《猫》ノラ:佐々木航太郎、白:

> 吉野舞《あすか》瀬田琴未《死 チョコ:藤原さくら《お藤 智尋、シャンシャン:瀬田瑞 淳子《考霊天皇》中村信夫《ヤ う:音田いく子、けんぼう: 神》長住康二《おしどり》こ 藤梨馨、シュルシュル:毛利 マタノオロチ》シャラリ:加 貴、②:藤原敦子、③:宮脇 加藤良子《凡人》①:長尾光 んぼう:倉間紀代子、がんぼ シャラシャラ:阿部瑞季、





























広報ひの 11 月号 -2013 -